

学校関係者評価委員会による評価				
■評価対象期間:2019年4月1日～2020年3月31日 ■学校関係者評価委員会構成:学識委員1名、企業等委員2名				
分野	自己評価	点数	学校関係者評価	改善策
教育の理念・目標	【理念】と【努力目標】		* 適切に運営されている。	
	日光から世界へ! 世界のNIKKOへ1 * 学び続ける心 * おもてなしの心 * 友好と親善の心			
	【本年度の目標】			
	(目的)設立開校初年度であり、専門学校としての基本運営の基盤を構築させる			
	(人材育成像)校長、教師、生活指導、進路指導、事務局、広報などの役割分担の明確化			
教育目標	(社会ニーズ)観光立国に向けたインバウンド対応人材の確保			
	学校理念、目標、育成人材像は学生に周知されているか。	3	* 理念の言葉だけでなく、理念の源となった学校の設立趣意まで理解させる必要がある。	* 理事長中心に教職員が日々の行動を通して、学生に学校の社会的ニーズを誠実に伝える。
教育活動	今後の課題(学則第1条参照) ・定期的に繰り返し伝えていく。・学校理念、努力目標を校内に掲示する。			
	・学校理念、目標に沿った教育課程の編成がなされているか。	4	* 適切に運営されている。	
	・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫や開発がなされているか。	4		
	・成績評価、単位認定、進級、卒業判定の基準は、明確になっているか。	4		
	・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	4		
	・教育活動等に対する情報公開が適切になされているか。	4		
・関連分野の先端知識、技能等を修得する機会を得たり、指導力向上のための研修機会があるか。	3	* 研修費用を毎年の予算に計上する。	* 教職員から希望の研修内容をヒアリングして予算内で実行。	
各教科	今後の課題 ・教職員が主体的に研修機会を利用する体制を整える。			
	・教科の目標を明確にした指導計画が作成されて、それに基づいた授業が進められたか。	3	* 半期ごとの見直しが必要である。	* シラバスのPDCAサイクルを行い継続させる。
	・基礎的・基本的内容の徹底はできたか。	4		
	・授業時数は十分だったか。	4	* 適切に運営されている。	
	・評価活動は適切に行われたか。	4		
	・学生は積極的、主体的に授業に参加できたか。	2	* 学生の生活環境や授業に消極的な要因の分析が必要。	* 学生へのアンケートを実施して要因解析する。
管理	今後の課題 ・学生の主体性をいかに開発するか。			
	・日常的な清掃活動は適切に行われたか。	3	* ルールの徹底化と工夫が必要。	* 効果的なルールと生活指導者と学生との信頼構築化。
	・清掃用具の配布・管理は十分だったか。	4		
	・備品管理は適切に行われているか。	4	* 適切に運営されている。	
教育環境	・個人情報保護のための対策がとられているか。	4		
	・施設・整備・教具は、教育上の必要性に対応できるように整備されているか。	3	* 助成金などの利用で効果的に推進。	* 助成金の内容を調べる。
	・防災訓練を定期的に行う。	4	* 適切に運営されている。	
学生支援	今後の課題 ・設備、教具の充実を継続する。 ・防災訓練を定期的に行う。			
	・進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4	* 適切に運営されている。	
	・学生相談に関する体制は整備されているか。	4		
	・学生の健康管理を担う組織体制はあるか。	4		
・学生の学習支援、生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか。	4			
学校行事	・学生は学校行事、校外学習に積極的に参加していたか。	4		
	・学校行事及び校外学習の内容は適当だったか。	4		
社会貢献 地域交流	・学校の教育資源、施設を利用した社会貢献、地域との交流を図ったり、学生のボランティア活動などを支援しているか。	3	* 学校運営には地域住民の理解が必要不可欠である。	* 地域イベントへの参画や地元自治会、関係団体との連携
	今後の課題 ・アルバイト、企業連携などでの社会貢献度は大きいですが、さらに地域交流を進める。			
その他	今後の課題(学則参照、来年度の学校体制など) ・学則検討			